

学校コード F101310100310

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

北海道文教大学 医療保健科学部 看護学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 鶴岡学園

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	事務局総務部総務課
職名・氏名	カカリチョウ アサイ ケイタ 係長 ・ 浅井 敬太
電話番号	0123-34-0019（内線：128）
（夜間）	0123-34-0019
e-mail	soumu@do-bunkiyodai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医療保健科学部

<看護学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人鶴岡学園

(2) 大学名

北海道文教大学大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒061-1449

北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	スズキ タケオ 鈴木 武夫 (平成12年4月)		
学長	ワタナベ トシヒロ 渡部 俊弘 (平成30年4月)		
学部長	ヨコイ ユウイチロウ 横井 裕一郎 (令和5年4月)		
学科長等	フジナガ スガコ 藤長 すが子 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療保健科学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4 年	80 人	2年次 人 3年次 人 4年次 人	320 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率(控除後)	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	1.23倍	一倍	1.23倍	一倍	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	287 (-) [-]	(-) [-]					
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	276 (-) [-]	(-) [-]					
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	198 (-) [-]	(-) [-]					
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	99 (-) [-]	(-) [-]					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.23						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、**春季入学とその他の学期**(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	人	人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	99 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{99} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医療保健科学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	人間と文化	1前	2	2								兼1
	心理学概論	1前	2	2								兼1
	食生活論	1後	2	2								兼1
	生活と社会環境	1後	2	2								兼2
	総合教養講座	1前	2	2								兼5
	小計(5科目)	—	2	8	0							兼10
	社会と制度	1後	2	2								兼1
	現代医療と福祉・介護	1前	2	2								兼1
	キャリア入門	1前	1	1								兼1
	キャリア形成	3前	3	1								兼1
小計(4科目)	—	1	5	0							兼3	
自然と科学	生命科学	1前	2	2								兼1
	情報処理リテラシー	1前	1	1								兼1
	統計の基礎	1後	2	2								兼1
	数理・データサイエンス・AI入門	1後	1	1								兼1
	数理・データサイエンス・AI実践	1後	1	1								兼1
	物理学	1前	2	2								兼1
	基礎化学	1前	2	2								兼2
小計(7科目)	—	1	10	0							兼5	
外国語	英語I	1前	1	1								兼1
	英語II	1後	1	1								兼1
	英語III	2前	1	1								兼1
	中国語I	1前	1	1								兼1
	中国語II	1後	1	1								兼1
	韓国語I	1前	1	1								兼1
	韓国語II	1後	1	1								兼1
小計(7科目)	—	0	7	0							兼5	
スポーツと健康	生涯スポーツI	1前	1	1								兼1
	生涯スポーツII	1後	1	1								兼1
	小計(2科目)	—	0	2	0							兼1
総合領域	グローバル・ラングエイジスタディ研修	1-2-3-4前・後	1	1		1						兼2
	グローバル・エクスペリエンス研修	1-2-3-4前・後	2	2		1						兼2
	グローバル・プラクティカル研修	1-2-3-4前・後	1	1		1						兼2
	海外・国内体験型研修	1-2-3-4前・後	2	2		1						兼2
	小計(4科目)	—	0	6	0	4						兼4
専門基礎科目	人体構造学I	1前	2	2		1	1	2	1			
	人体構造学II	1後	2	2		1	1	2	1			
	人体機能学I	1前	2	2		1	1	2	1			
	人体機能学II	1後	2	2		1	1	2	1			
	免疫学	1後	1	1								兼1
	看護栄養学	2前	1	1								兼1
	小計(6科目)	—	10	0	0	2	1	4	1			兼2
	メンタルヘルス	1後	1	1		1			1			
	病理学	2前	2	2								兼1
	看護病態治療学I	2前	2	2								兼1
	看護病態治療学II	2前	2	2				1	2			兼1
	看護病態治療学III	2前	2	2		1						兼1
	看護病態治療学IV	2後	2	2		2		1	1			兼1
	薬理学	1後	2	2								兼1
	感染症と看護	2後	1	1				2				
臨床検査概論	2前	1	1								兼1	
小計(9科目)	—	15	0	0	3		3	2			兼5	
社会健康支援と社会保健制度	看護基礎講座	1前	1	1				2				
	医療概論	1前	1	1		2						
	関係法規	1後	1	1		1	2	1				
	生涯発達論	1後	1	1								
	地域包括ケアシステム論	2後	1	1				1				兼1
	保健医療福祉行政論	1後	1	1		1						兼2
	チーム医療概論	2後	1	1				1				兼2
	リハビリテーション論	2後	1	1								兼2
	医療英語	2後	1	1								兼1
	看護学英語文献講読	3前	1	1		1			1			
小計(10科目)	—	9	1	0	5	2	3	2			兼6	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	人間と文化	1前	2	2								兼1
	心理学概論	1前	2	2								兼1
	食生活論	1後	2	2								兼1
	生活と社会環境	1後	2	2								兼2
	総合教養講座	1前	2	2								兼5
	小計(5科目)	—	2	8	0							兼10
	社会と制度	1後	2	2								兼1
	現代医療と福祉・介護	1前	2	2								兼1
	キャリア入門	1前	1	1								兼1
	キャリア形成	3前	3	1								兼1
小計(4科目)	—	1	5	0							兼3	
自然と科学	生命科学	1前	2	2								兼1
	情報処理リテラシー	1前	1	1								兼1
	統計の基礎	1後	2	2								兼1
	数理・データサイエンス・AI入門	1後	1	1								兼1
	数理・データサイエンス・AI実践	1後	1	1								兼1
	物理学	1前	2	2								兼1
	基礎化学	1前	2	2								兼2
小計(7科目)	—	1	10	0							兼5	
外国語	英語I	1前	1	1								兼1
	英語II	1後	1	1								兼1
	英語III	2前	1	1								兼1
	中国語I	1前	1	1								兼1
	中国語II	1後	1	1								兼1
	韓国語I	1前	1	1								兼1
	韓国語II	1後	1	1								兼1
小計(7科目)	—	0	7	0							兼5	
スポーツと健康	生涯スポーツI	1前	1	1								兼1
	生涯スポーツII	1後	1	1								兼1
	小計(2科目)	—	0	2	0							兼1
総合領域	グローバル・ラングエイジスタディ研修	1-2-3-4前・後	1	1		1						兼2
	グローバル・エクスペリエンス研修	1-2-3-4前・後	2	2		1						兼2
	グローバル・プラクティカル研修	1-2-3-4前・後	1	1		1						兼2
	海外・国内体験型研修	1-2-3-4前・後	2	2		1						兼2
	小計(4科目)	—	0	6	0	4						兼4
専門基礎科目	人体構造学I	1前	2	2		1	1	2	1			
	人体構造学II	1後	2	2		1	1	2	1			
	人体機能学I	1前	2	2		1	1	2	1			
	人体機能学II	1後	2	2		1	1	2	1			
	免疫学	1後	1	1								兼1
	看護栄養学	2前	1	1								兼1
	小計(6科目)	—	10	0	0	2	1	4	1			兼2
	メンタルヘルス	1後	1	1		1			1			
	病理学	2前	2	2								兼1
	看護病態治療学I	2前	2	2								兼1
	看護病態治療学II	2前	2	2				1	2			兼1
	看護病態治療学III	2前	2	2		1						兼1
	看護病態治療学IV	2後	2	2		2		1	1			兼1
	薬理学	1後	2	2								兼1
	感染症と看護	2後	1	1				2				
臨床検査概論	2前	1	1								兼1	
小計(9科目)	—	15	0	0	3		3	2			兼5	
社会健康支援と社会保健制度	看護基礎講座	1前	1	1				2				
	医療概論	1前	1	1		2						
	関係法規	1後	1	1		1	2	1				
	生涯発達論	1後	1	1								
	地域包括ケアシステム論	2後	1	1				1				兼1
	保健医療福祉行政論	1後	1	1		1						兼2
	チーム医療概論	2後	1	1				1				兼2
	リハビリテーション論	2後	1	1								兼2
	医療英語	2後	1	1								兼1
	看護学英語文献講読	3前	1	1		1			1			
小計(10科目)	—	9	1	0	5	2	3	2			兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎看護学	看護学の基礎	1前	2			1								
	コミュニケーション論	1前	1				1							
	看護ヘルスアセスメント	2前	1			1			3	2				
	共通看護援助技術	1前	1			1			3	2				
	日常生活援助技術Ⅰ	1後	1			1			3	2				
	日常生活援助技術Ⅱ	1後	1			1			3	2				
	臨床看護技術	2後	1			1			3	2				
	看護過程論	2前	1			1			3	2				
	看護倫理	1後	1			1			1					
	看護教育学	4後	1	1					1					
	看護理論	1後	1			1			1					
	小計(11科目)	—	—	11	1	0	7	2	8	6				
	成人看護学	成人看護学の基礎	1後	1			1							
		成人看護学の展開Ⅰ	2前	2			1			2				
成人看護学の展開Ⅱ		2後	2			1			2					
成人看護学の展開Ⅲ		3前	2			1			2					
小計(4科目)	—	—	7	0	0	4		4						
老年看護学	老年看護学の基礎	2前	2			1								
	老年看護学の展開Ⅰ	2後	1				1		1					
	老年看護学の展開Ⅱ	3前	1				1		2					
	小計(3科目)	—	—	4	0	0	2		3					
小児看護学	小児看護学の基礎	2前	2			1								
	小児看護学の展開Ⅰ	2後	1			1	1	1			1			
	小児看護学の展開Ⅱ	3前	1			1	1	1			1			
	小計(3科目)	—	—	4	0	0	3	2	2		2			
母性看護学	母性看護学の基礎	2前	2			1								
	母性看護学の展開Ⅰ	2後	2				1	1						
	母性看護学の展開Ⅱ	3前	1				1	1						
	小計(3科目)	—	—	5	0	0	2	2	1					
精神看護学	精神看護学の基礎	2前	2			1								
	精神看護学の展開Ⅰ	2後	2			1			1					
	精神看護学の展開Ⅱ	3前	1			1			1					
	小計(3科目)	—	—	5	0	0	3		2					
在宅看護学	在宅看護学の基礎	1前	2			1								
	地域看護学の基礎	1後	1			1								
	在宅看護学の展開Ⅰ	2後	1			1			1					
	在宅看護学の展開Ⅱ	3前	1			1			1					
	家族看護学	2前	1			1								
	小計(5科目)	—	—	6	0	0	4		4					
看護の統合と実践	看護研究Ⅰ	3前	2			1								
	看護研究Ⅱ	4前・後	2			2	2	8	6					
	看護臨床判断	3前	1			1		1						
	看護起業論	3前	1			1								
	看護マネジメント論	4前	1					1						
	リスクマネジメント論	3前	1					1						
	国際看護学	4後	1						1					
	災害看護学	4後	1					1						
	小計(8科目)	—	—	10	0	0	7	2	8	6				
	臨床実習	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			1		3	2				
基礎看護学実習Ⅱ		2後	2			1		3	2					
成人看護学実習		3後	4			1			2					
老年看護学実習		4前	2			1		2						
小児看護学実習		3後	2			1	1	1			1			
母性看護学実習		3後	2			1	1	1						
精神看護学実習		4前	2			1		1			1			
地域・在宅看護論実習		3後	2			1		1			1			
地域フィールド実習		2後	2			1		2						
臨床判断実習		4前	2			2		1	1					
看護実践マネジメント実習		4前	2			2		1						
小計(11科目)	—	—	23	0	0	7	2	8	6					
合計(105科目)	—	—	113	40	0	7	2	8	6			兼35		

卒業要件及び履修方法

本学に4年以上在学し、教養科目4単位以上、専門基礎科目34単位以上、専門科目75単位以上を含む124単位以上を修得した者に対し、「学士(看護学)」の学位を授与する。

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎看護学	看護学の基礎	1前	2			1								
	コミュニケーション論	1前	1				1							
	看護ヘルスアセスメント	2前	1			1			3	2				
	共通看護援助技術	1前	1			1			3	2				
	日常生活援助技術Ⅰ	1後	1			1			3	2				
	日常生活援助技術Ⅱ	1後	1			1			3	2				
	臨床看護技術	2後	1			1			3	2				
	看護過程論	2前	1			1			3	2				
	看護倫理	1後	1			1			1					
	看護教育学	4後	1	1					1					
	看護理論	1後	1			1			1					
	小計(11科目)	—	—	11	1	0	7	2	8	6				
	成人看護学	成人看護学の基礎	1後	1			1							
		成人看護学の展開Ⅰ	2前	2			1			1	1			
成人看護学の展開Ⅱ		2後	2			1			1	1				
成人看護学の展開Ⅲ		3前	2			1			1	1				
小計(4科目)	—	—	7	0	0	4		4						
老年看護学	老年看護学の基礎	2前	2			1								
	老年看護学の展開Ⅰ	2後	1				1		1					
	老年看護学の展開Ⅱ	3前	1				1		2					
	小計(3科目)	—	—	4	0	0	2		3					
小児看護学	小児看護学の基礎	2前	2			1								
	小児看護学の展開Ⅰ	2後	1			1	1	1			1			
	小児看護学の展開Ⅱ	3前	1			1	1	1			1			
	小計(3科目)	—	—	4	0	0	3	2	2		2			
母性看護学	母性看護学の基礎	2前	2			1								
	母性看護学の展開Ⅰ	2後	2				1	1						
	母性看護学の展開Ⅱ	3前	1				1	1						
	小計(3科目)	—	—	5	0	0	2	2	1					
精神看護学	精神看護学の基礎	2前	2			1								
	精神看護学の展開Ⅰ	2後	2			1			1					
	精神看護学の展開Ⅱ	3前	1			1			1					
	小計(3科目)	—	—	5	0	0	3		2					
在宅看護学	在宅看護学の基礎	1前	2			1								
	地域看護学の基礎	1後	1			1								
	在宅看護学の展開Ⅰ	2後	1			1			1					
	在宅看護学の展開Ⅱ	3前	1			1			1					
	家族看護学	2前	1			1								
	小計(5科目)	—	—	6	0	0	4		4					
看護の統合と実践	看護研究Ⅰ	3前	2			1								
	看護研究Ⅱ	4前・後	2			2	2	8	6					
	看護臨床判断	3前	1			1		1						
	看護起業論	3前	1			1								
	看護マネジメント論	4前	1					1						
	リスクマネジメント論	3前	1					1						
	国際看護学	4後	1						1					
	災害看護学	4後	1					1						
	小計(8科目)	—	—	10	0	0	7	2	8	6				
	臨床実習	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			1		3	2				
基礎看護学実習Ⅱ		2後	2			1		3	2					
成人看護学実習		3後	4			1			2					
老年看護学実習		4前	2			1		2						
小児看護学実習		3後	2			1	1	1			1			
母性看護学実習		3後	2			1	1	1						
精神看護学実習		4前	2			1		1			1			
地域・在宅看護論実習		3後	2			1		1			1			
地域フィールド実習		2後	2			1		2						
臨床判断実習		4前	2			2		1	1					
看護実践マネジメント実習		4前	2			2		1						
小計(11科目)	—	—	23	0	0	7	2	8	6					
合計(105科目)	—	—	113	40	0	7	2	8	6			兼35		

卒業要件及び履修方法

本学に4年以上在学し、教養科目4単位以上、専門基礎科目34単位以上、専門科目75単位以上を含む124単位以上を修得した者に対し、「学士(看護学)」の学位を授与する。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技」による授業科目には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・ 専任教員の橋拓真助教が講師に昇任により、以下の科目の専任教員等配置を「助教」から「講師」に変更。「人体構造学Ⅱ」「人体機能学Ⅱ」「看護病態治療学Ⅳ」「地域包括ケアシステム論」「在宅看護学の展開Ⅰ」「在宅看護学の展開Ⅱ」「看護研究Ⅱ」「地域・在宅看護論実習」「臨床判断実習」
- ・ 専任教員の榎本常子助教が講師に昇任により、以下の科目の専任教員等配置を「助教」から「講師」に変更。「看護病態治療学Ⅲ」「看護学英語文献講読」「成人看護学の展開Ⅰ」「成人看護学の展開Ⅱ」「成人看護学の展開Ⅲ」「看護研究Ⅱ」「国際看護学

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
77 科目	28 科目	0 科目	105 科目	77 科目 [0]	28 科目 [0]	0 科目 [0]	105 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{105} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道文教大学附属高 等学校（必要面積 11,760㎡）と共用 （収容定員：480人）			
	校 舎 敷 地	63,729.00 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	63,729.00 ㎡				
	運 動 場 用 地	0.00 ㎡	36,804.85 ㎡	0.00 ㎡	36,804.85 ㎡				
	小 計	63,729.00 ㎡	36,804.85 ㎡	0.00 ㎡	100,533.85 ㎡				
	そ の 他	0.00 ㎡	0.00 ㎡	12,297.32 ㎡	12,297.32 ㎡				
	合 計	63,729.00 ㎡	36,804.85 ㎡	12,297.32 ㎡	112,831.17 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	34,835.34 ㎡ (34,835.34 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	34,835.34 ㎡ (34,835.34 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 教育体制及び教育内容 の充実を図るため改 修・用途変更 (5)			
	33室 37室	7 室	29室 27室	3 室 (補助職員 人)	1 室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医療保健科学部 看護学科			23 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用分を 含む 図書157,000 156,000 [20,000] [19,500] 学術雑誌191 [34] 195 [35] 電子ジャーナル 4,400 [2,900] 4,300 [2,800] 視聴覚 6,300 電子書籍870 750 新規資料整備および購 読誌の休刊・見直しの ため (5)	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					点
	冊	種	種	点	点	点			
	医療保健科学部	35,000 [1,200] 33,000 [1,000] (35,000 [1,200]) (33,000 [1,000])	32 [5] 37 [6] (32 [5]) (37 [6])	2,160 [590] 2,130 [620] (2,160 [590]) (2,130 [620])	1,200 1,100 (1,200) (1,100)	8,853 (8,853)	149 (149)		
計	35,000 [1,200] 33,000 [1,000] (35,000 [1,200]) (33,000 [1,000])	32 [5] 37 [6] (32 [5]) (37 [6])	2,160 [590] 2,130 [620] (2,160 [590]) (2,130 [620])	1,200 1,100 (1,200) (1,100)	8,853 (8,853)	149 (149)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	2,458 ㎡		324 席		160,000 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,415 ㎡		野球場 1面、多目的グラウンド 1面、サッカー場 1面、テニスコート 2 面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 大学全体
		教員 1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	千円	1,089千円 2,600	3,729千円 2,600	
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	千円	千円	千円	千円	
	学生 1人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	図書購入費について は、学生収容見込数に 比例した完成年度経費 を再計上 (5)	
		1,800千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		学生納付金以外には、補助金収入、手数料収入、寄付金収入等を充当する。							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 5 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道文教大学					平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	2	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度		
外国語学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成11年度	北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1	
国際言語学科	4	-	-	-	学士(外国語)	-	-	-	-	-	平成22年度		令和3年度より学生募集停止
人間科学部	4	250	-	1000	-	0.76	-	0.75	-	-	平成15年度	同上	
健康栄養学科	4	150	-	600	学士(健康栄養学)	0.72	-	0.71	-	-	平成15年度	同上	
理学療法学科	4	-	-	-	学士(理学療法学)	-	-	-	-	-	平成18年度		令和5年度より学生募集停止
作業療法学科	4	-	-	-	学士(作業療法学)	-	-	-	-	-	平成19年度		令和5年度より学生募集停止
看護学科	4	-	-	-	学士(看護学)	-	-	-	-	-	平成20年度		令和5年度より学生募集停止
こども発達学科	4	100	-	400	学士(こども発達学)	0.82	-	0.80	-	-	平成22年度	同上	
国際学部	4	100	-	400	-	0.59	-	0.57	-	-	令和3年度	同上	
国際教養学科	4	50	-	150	学士(国際学)	0.40	-	0.39	-	-	令和3年度	同上	
国際コミュニケーション学科	4	50	-	150	学士(国際学)	0.78	-	0.76	-	-	令和3年度	同上	
医療保健科学部	4	200	-	800	-	1.23	-	1.23	-	-	令和5年度	同上	
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.23	-	1.23	-	-	令和5年度	同上	
リハビリテーション学科	4	120	-	480	-	1.23	-	1.23	-	-	令和5年度	同上	
理学療法学専攻	4	80	-	-	学士(理学療法学)	1.35	-	1.35	-	-	令和5年度	同上	
作業療法学専攻	4	40	-	-	学士(作業療法学)	1.00	-	1.00	-	-	令和5年度	同上	
大学全体	-	550	-	2200	-	-	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください)。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医療保健科学部 看護学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤長 すが子 <令和5年4月1日> 修士(看護学)
		海外・国内体験型研修 看護病態治療学IV 医療概論 看護学の基礎 看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術I 日常生活援助技術II 臨床看護技術 看護過程論 看護倫理 看護理論 看護研究II 基礎看護学実習I 基礎看護学実習II 臨床判断実習
専	教授	井上 仁美 <令和5年4月1日> 博士(看護学)
		グローバル・エキスペリエンス研修 メンタルヘルス 看護病態治療学IV 保健医療福祉行政論 精神看護学の基礎 精神看護学の展開I 精神看護学の展開II 看護研究II 精神看護学実習
専	教授	尾形 裕子 <令和5年4月1日> 博士(看護学)
		看護病態治療学III 生涯発達論 成人看護学の基礎 成人看護学の展開I 成人看護学の展開II 成人看護学の展開III 看護研究II 成人看護学実習
専	教授	小堀 ゆかり <令和5年4月1日> 博士(医学)
		母性看護学の基礎 看護研究II 母性看護学実習
専	教授	佐藤 洋子 <令和5年4月1日> 修士(法学)※
		関係法規 看護学英語文献講読 小児看護学の基礎 小児看護学の展開II 看護研究I 看護研究II 看護臨床判断 小児看護学実習

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤長 すが子 <令和5年4月1日> 修士(看護学)
		海外・国内体験型研修 看護病態治療学IV 医療概論 看護学の基礎 看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術I 日常生活援助技術II 臨床看護技術 看護過程論 看護倫理 看護理論 看護研究II 基礎看護学実習I 基礎看護学実習II 臨床判断実習
専	教授	井上 仁美 <令和5年4月1日> 博士(看護学)
		グローバル・エキスペリエンス研修 メンタルヘルス 看護病態治療学IV 保健医療福祉行政論 精神看護学の基礎 精神看護学の展開I 精神看護学の展開II 看護研究II 精神看護学実習
専	教授	尾形 裕子 <令和5年4月1日> 博士(看護学)
		看護病態治療学III 生涯発達論 成人看護学の基礎 成人看護学の展開I 成人看護学の展開II 成人看護学の展開III 看護研究II 成人看護学実習
専	教授	小堀 ゆかり <令和5年4月1日> 博士(医学)
		母性看護学の基礎 看護研究II 母性看護学実習
専	教授	佐藤 洋子 <令和5年4月1日> 修士(法学)※
		関係法規 看護学英語文献講読 小児看護学の基礎 小児看護学の展開II 看護研究I 看護研究II 看護臨床判断 小児看護学実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鹿内 あずさ 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		グローバル・プラクティカル研修 人体構造学Ⅱ 人体機能学Ⅱ 在宅看護学の基礎 地域看護学の基礎 在宅看護学の展開Ⅰ 在宅看護学の展開Ⅱ 家族看護学 看護研究Ⅱ 看護臨床判断 地域・在宅看護論実習 臨床判断実習
専	教授	高岡 哲子 〈令和5年4月1日〉 博士(保健学)
		グローバル・ラングエイジ スタ ディ研修 人体構造学Ⅰ 人体機能学Ⅰ 医療概論 老年看護学の基礎 看護研究Ⅱ 看護起業論 老年看護学実習 地域フィールド実習
専	准教授	多賀 昌江 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		生涯発達論 母性看護学の展開Ⅰ 母性看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 母性看護学実習
専	准教授	横山 佳世 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		人体構造学Ⅰ 人体機能学Ⅰ 生涯発達論 小児看護学の展開Ⅰ 小児看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 小児看護学実習
専	講師	木口 幸子 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		人体構造学Ⅰ 人体機能学Ⅰ 看護基礎講座 看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護教育学 看護研究Ⅱ 看護臨床判断 災害看護学 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 臨床判断実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鹿内 あずさ 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		グローバル・プラクティカル研修 人体構造学Ⅱ 人体機能学Ⅱ 在宅看護学の基礎 地域看護学の基礎 在宅看護学の展開Ⅰ 在宅看護学の展開Ⅱ 家族看護学 看護研究Ⅱ 看護臨床判断 地域・在宅看護論実習 臨床判断実習
専	教授	高岡 哲子 〈令和5年4月1日〉 博士(保健学)
		グローバル・ラングエイジ スタ ディ研修 人体構造学Ⅰ 人体機能学Ⅰ 医療概論 老年看護学の基礎 看護研究Ⅱ 看護起業論 老年看護学実習 地域フィールド実習
専	准教授	多賀 昌江 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		生涯発達論 母性看護学の展開Ⅰ 母性看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 母性看護学実習
専	准教授	横山 佳世 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		人体構造学Ⅰ 人体機能学Ⅰ 生涯発達論 小児看護学の展開Ⅰ 小児看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 小児看護学実習
専	講師	木口 幸子 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		人体構造学Ⅰ 人体機能学Ⅰ 看護基礎講座 看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護教育学 看護研究Ⅱ 看護臨床判断 災害看護学 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 臨床判断実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	佐々木 律子 〈令和5年4月1日〉 修士(文学)
		コミュニケーション論 看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護研究Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ
専	講師	菅原 美保 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		人体構造学Ⅰ 人体機能学Ⅰ 看護病態治療学Ⅱ 小児看護学の展開Ⅰ 小児看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 小児看護学実習
専	講師	竹之内 優美 〈令和5年4月1日〉 修士(経営学)
		看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護研究Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ
専	講師	辻 幸美 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		人体構造学Ⅱ 人体機能学Ⅱ 看護病態治療学Ⅳ 感染症と看護 生涯発達論 老年看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 老年看護学実習 地域フィールド実習
専	講師	初見 温子 〈令和5年4月1日〉 学士(看護学)
		看護基礎講座 老年看護学の展開Ⅰ 老年看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 老年看護学実習 地域フィールド実習
専	講師	坂東 奈穂美 〈令和5年4月1日〉 修士(経営学)
		人体構造学Ⅱ 人体機能学Ⅱ 感染症と看護 チーム医療概論 看護研究Ⅱ 看護マネジメント論 リスクマネジメント論 看護実践マネジメント実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	佐々木 律子 〈令和5年4月1日〉 修士(文学)
		コミュニケーション論 看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護研究Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ
専	講師	菅原 美保 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		人体構造学Ⅰ 人体機能学Ⅰ 看護病態治療学Ⅱ 小児看護学の展開Ⅰ 小児看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 小児看護学実習
専	講師	竹之内 優美 〈令和5年4月1日〉 修士(経営学)
		看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護研究Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ
専	講師	辻 幸美 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		人体構造学Ⅱ 人体機能学Ⅱ 看護病態治療学Ⅳ 感染症と看護 生涯発達論 老年看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 老年看護学実習 地域フィールド実習
専	講師	初見 温子 〈令和5年4月1日〉 学士(看護学)
		看護基礎講座 老年看護学の展開Ⅰ 老年看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 老年看護学実習 地域フィールド実習
専	講師	坂東 奈穂美 〈令和5年4月1日〉 修士(経営学)
		人体構造学Ⅱ 人体機能学Ⅱ 感染症と看護 チーム医療概論 看護研究Ⅱ 看護マネジメント論 リスクマネジメント論 看護実践マネジメント実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	福士 晴佳 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		母性看護学の展開Ⅰ 母性看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 母性看護学実習
専	助教	赤坂 浩子 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護研究Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ
専	助教	小橋 拓真 〈令和5年4月1日〉 博士(社会福祉学)
		人体構造学Ⅱ 人体機能学Ⅱ 看護病態治療学Ⅳ 地域包括ケアシステム論 在宅看護学の展開Ⅰ 在宅看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 地域・在宅看護論実習 臨床判断実習
専	助教	藤村 恵理子 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		メンタルヘルス 精神看護学の展開Ⅰ 看護研究Ⅱ 精神看護学実習
専	助教	古沢 幸子 〈令和5年4月1日〉 学士(人間科学)
		看護病態治療学Ⅲ 成人看護学の展開Ⅰ 成人看護学の展開Ⅱ 成人看護学の展開Ⅲ 看護研究Ⅱ 成人看護学実習
専	助教	榎本 常子 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		看護病態治療学Ⅲ 看護学英語文献講読 成人看護学の展開Ⅰ 成人看護学の展開Ⅱ 成人看護学の展開Ⅲ 看護研究Ⅱ 国際看護学 成人看護学実習
専	助教	渡辺 一代 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護研究Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	福士 晴佳 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		母性看護学の展開Ⅰ 母性看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 母性看護学実習
専	助教	赤坂 浩子 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護研究Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ
専	講師	小橋 拓真 〈令和5年4月1日〉 博士(社会福祉学)
		人体構造学Ⅱ 人体機能学Ⅱ 看護病態治療学Ⅳ 地域包括ケアシステム論 在宅看護学の展開Ⅰ 在宅看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 地域・在宅看護論実習 臨床判断実習
専	助教	藤村 恵理子 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		メンタルヘルス 精神看護学の展開Ⅰ 看護研究Ⅱ 精神看護学実習
専	助教	古沢 幸子 〈令和5年4月1日〉 学士(人間科学)
		看護病態治療学Ⅲ 成人看護学の展開Ⅰ 成人看護学の展開Ⅱ 成人看護学の展開Ⅲ 看護研究Ⅱ 成人看護学実習
専	講師	榎本 常子 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		看護病態治療学Ⅲ 看護学英語文献講読 成人看護学の展開Ⅰ 成人看護学の展開Ⅱ 成人看護学の展開Ⅲ 看護研究Ⅱ 国際看護学 成人看護学実習
専	助教	渡辺 一代 〈令和5年4月1日〉 修士(看護学)
		看護ヘルスアセスメント 共通看護援助技術 日常生活援助技術Ⅰ 日常生活援助技術Ⅱ 臨床看護技術 看護過程論 看護研究Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	矢部 玲子 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		文章表現
兼担	教授	石垣 則昭 ＜令和5年4月＞ 学士(体育学)
		心理学概論
兼担	教授	今泉 博文 ＜令和5年4月＞ 学士(農学)
		生活と社会環境 現代医療と福祉・介護
兼担	教授	金子 翔拓 ＜令和5年4月1日＞ 博士(作業療法学)
		生活と社会環境 グローバル・プラクティカル研修 海外・国内体験型研修
兼担	教授	白戸 力弥 ＜令和5年4月1日＞ 博士(医学)
		総合教養講座 グローバル・ラングエイジ スタ ディ研修
兼担	教授	大森 圭 ＜令和5年4月1日＞ 修士(理学療法学)
		総合教養講座
兼担	教授	渡部 俊弘 ＜令和5年4月1日＞ 博士(農芸化学)
		総合教養講座
兼担	教授	松岡 審爾 ＜令和5年4月1日＞ 博士(理学)
		総合教養講座 情報処理リテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 数理・データサイエンス・AI実践 物理学
兼担	准教授	小塚 美由記 ＜令和5年4月1日＞ 博士(保健学)
		総合教養講座
兼担	准教授	木村 悠里菜 ＜令和5年4月1日＞ 修士(国際貢献)
		キャリア入門 キャリア形成
兼担	准教授	藤井 駿吾 ＜令和5年4月1日＞ 博士(食品栄養学)
		基礎化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	水野 愛子 ＜令和5年4月1日＞ 修士(心身健康科学)
		小児看護学の展開Ⅰ 小児看護学の展開Ⅱ 看護研究Ⅱ 小児看護学実習
兼担	准教授	矢部 玲子 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		文章表現
兼担	教授	石垣 則昭 ＜令和5年4月＞ 学士(体育学)
		心理学概論
兼担	教授	今泉 博文 ＜令和5年4月＞ 学士(農学)
		生活と社会環境 現代医療と福祉・介護
兼担	教授	金子 翔拓 ＜令和5年4月1日＞ 博士(作業療法学)
		生活と社会環境 グローバル・プラクティカル研修 海外・国内体験型研修
兼担	教授	白戸 力弥 ＜令和5年4月1日＞ 博士(医学)
		総合教養講座 グローバル・ラングエイジ スタ ディ研修
兼担	教授	大森 圭 ＜令和5年4月1日＞ 修士(理学療法学)
		総合教養講座
兼担	教授	渡部 俊弘 ＜令和5年4月1日＞ 博士(農芸化学)
		総合教養講座
兼担	教授	松岡 審爾 ＜令和5年4月1日＞ 博士(理学)
		総合教養講座 情報処理リテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 数理・データサイエンス・AI実践 物理学
兼担	准教授	小塚 美由記 ＜令和5年4月1日＞ 博士(保健学)
		総合教養講座
兼担	准教授	木村 悠里菜 ＜令和5年4月1日＞ 修士(国際貢献)
		キャリア入門 キャリア形成
兼担	准教授	藤井 駿吾 ＜令和5年4月1日＞ 博士(食品栄養学)
		基礎化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	佐々木 将太 〈令和5年4月1日〉 博士(学術)
		基礎化学
兼担	教授	Walzem Allen George 〈令和5年4月1日〉 英米文学博士
		英語Ⅱ
兼担	講師	Tomasine Joseph Samuel 〈令和6年4月1日〉 M. A. in Teaching TESOL
		英語Ⅲ 医療英語
兼担	准教授	野間 晃 〈令和5年4月1日〉 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼担	講師	金 京室 〈令和5年4月1日〉 博士(保健科学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
兼担	准教授	平岡 英樹 〈令和5年4月1日〉 体育学士
		生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ
兼担	准教授	松本 信子 〈令和6年4月1日〉 短期大学卒
		看護栄養学
兼担	講師	水本 淳 〈令和6年4月1日〉 博士(理学療法)
		地域包括ケアシステム論
兼担	教授	大川 浩子 〈令和6年4月1日〉 博士(作業療法)
		リハビリテーション論
兼担	教授	橋田 浩 〈令和6年4月1日〉 修士(理学療法)
		リハビリテーション論
兼担	教授	瀧山 晃弘 〈令和6年4月1日〉 博士(医学)
		病理学
兼担	教授	金谷 匡紘 〈令和5年4月1日〉 博士(作業療法)
		チーム医療概論 グローバル・エクスペリエンス研修
兼担	教授	佐藤 明紀 〈令和6年4月1日〉 博士(医学)
		チーム医療概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	佐々木 将太 〈令和5年4月1日〉 博士(学術)
		基礎化学
兼担	教授	Walzem Allen George 〈令和5年4月1日〉 英米文学博士
		英語Ⅱ
兼担	講師	Tomasine Joseph Samuel 〈令和6年4月1日〉 M. A. in Teaching TESOL
		英語Ⅲ 医療英語
兼担	准教授	野間 晃 〈令和5年4月1日〉 博士(文学)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼担	講師	金 京室 〈令和5年4月1日〉 博士(保健科学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
兼担	准教授	平岡 英樹 〈令和5年4月1日〉 体育学士
		生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ
兼担	准教授	松本 信子 〈令和6年4月1日〉 短期大学卒
		看護栄養学
兼担	講師	水本 淳 〈令和6年4月1日〉 博士(理学療法)
		地域包括ケアシステム論
兼担	教授	大川 浩子 〈令和6年4月1日〉 博士(作業療法)
		リハビリテーション論
兼担	教授	橋田 浩 〈令和6年4月1日〉 修士(理学療法)
		リハビリテーション論
兼担	教授	瀧山 晃弘 〈令和6年4月1日〉 博士(医学)
		病理学
兼担	教授	金谷 匡紘 〈令和5年4月1日〉 博士(作業療法)
		チーム医療概論 グローバル・エクスペリエンス研修
兼担	教授	佐藤 明紀 〈令和6年4月1日〉 博士(医学)
		チーム医療概論

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・専任教員の小橋拓真助教が講師に昇任。
- ・専任教員の榎本常子助教が講師に昇任。
- ・専任教員の水野愛子助教の就任。
- ・北村秀光講師の本人の一人上の都合による辞任により、後任として澤谷啓行講師が就任。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	6
12	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	2	8	6	23	1	7	2	10	5	24	1
(7)	(2)	(8)	(6)	(23)	(1)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	2	10	5	24	1	7	2	10	5	24	1
[0]	[0]	[2]	[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[2]	[Δ1]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{23} = \boxed{104.34} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{24} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{1} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		【該当無し】					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		【該当無し】					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{23} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		【該当無し】					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	
						③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医療保健科学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当なし」	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育開発センター <p>教育開発センターは北海道文教大学及び北海道文教大学大学院における体系的教育課程の編成と実施体制の強化、ファカルティー・ディベロプメント（FD）と教育方法の改善及びグッド・プラクティス開発・推進に関する検討を行い、本学の教育を活性化することを目的とする全学的な組織である。</p> <p>教育開発センターは教育開発センター会議が運営し、センター長（学長）の指示に従い副センター長、センター室長、センター員が協議して大学改革に係わる業務を推進する戦略的拠点である。</p> <p>カリキュラムの改善に関して、教育開発センターは、全学的視野から基本方針を策定し、学科等に改善を求めることができる。提供科目の変更・新設に関し、学部・学科等は教育開発センターと協議することになっている。</p> <p>ファカルティー・ディベロプメント（FD）に関して、教育開発センターは、研究者または実務家としての確かな実績に基づく質の高い効果的な授業展開ができる教員になるために必要な以下の能力を伸ばす目的で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学識を創造する研究能力や実務家としての能力 ・授業科目の価値や学びの重要性を学生に伝える能力 ・学生に適した内容や方法で授業を実現するための授業設計及び評価能力（授業デザイン力） ・動機づけ・学修意欲向上を促す授業を可能とする能力（ICT活用も含む） ・学外の企業、臨地実習先と協力し授業の価値を点検・評価する能力 ・社会生活に必要な人間基礎力の指導能力 ・学生の授業評価アンケート等を用いて常に授業を改善することができる能力 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>【2022年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育開発センター会議： <ul style="list-style-type: none"> 2022年4月27日、2022年6月1日、2022年7月6日、2022年9月7日、2022年10月5日 2022年11月2日、2022年12月7日、2023年2月1日、2023年3月1日 <p>構成員：センター長（学長）、副センター長（副学長）、センター室長、センター員（各学部長及び各学科長）</p>

c 委員会の審議事項等

・教育課程の編成、ファカルティ・ディベロプメントと教育方法の改善及びグッド・プラクティス開発・推進に関する検討を行う。

- ・授業評価アンケートの活用方法について
- ・シラバス作成について
- ・3つのポリシーについて 等
- ・アセスメントポリシーについて
- ・学修成果および学修行動の調査および調査結果の公表等について
- ・履修系統図の作成等を活用した教育課程編成の改善について 等

② 実施状況

a 実施内容

【2022年度】

◎FD

- ・大学全体のFD
 - ・新任教員向けFD研修会「授業を行うにあたって」
 - ・シラバス作成に関する研修会
- ・人間科学部FD
 - ・「研究・教育活動を創造・発展させるための方法
～ Z世代&進化し続けるデジタルメディアの向き合い方～」
 - ・「医療保健科学部の経緯と学部、学科、専攻の特徴について」
 - ・「本学における「数理、データサイエンス、AIリテラシーと実践」について」
- ・外国語学部・国際学部合同FD
 - ・「英語学を英語授業に活かす」
- ・学科FD
 - ・「入学前課題中間報告を学生の学修指導に活かす1・2」、「コーチングで人間力を高める」、「教育活動の質的保障に向けた合理的配慮を含む学生への支援策について」等
- ・研究科FD
 - ・「他研究科の取り組みから学ぶ - 健康栄養科学研究科での取り組みから -」、「兵庫教育大学大学院における多様な学びについて」等

◎SD

- ・新任教職員事務説明会（事務局各部所掌の関連事項の説明）
- ・【SD研修会】第6回大学評価研究所「公開研究会」
- ・【SD研修会】日経 地域創生フォーラムin北海道イノベーションfor SDGs
- ・【SD研修会】令和4年度大学・短期大学スタディー・プログラム
- ・【SD研修会】Between学生募集広報ウェブセミナー
- ・【SD研修会】「学校法人会計の仕組みと実務」～ 学校会計入門コース ～
- ・【SD研修会】北海道SDGs推進プラットフォーム 第7回 SDGs研修会
- ・【SD研修会】大学基準協会 シンポジウム
- ・【SD研修会】第44回私立大学の教育・研究充実に関する研究会（大学の部）
- ・【SD研修会】令和4年度私立大学教育研究充実協議会
- ・【SD研修会】公益社団法人 私立大学情報教育協会 2022年度事業活動報告交流会
- ・【SD研修会】第7回大学評価研究所「公開研究会」
- ・【SD研修会】Between大学経営シンポジウム2023
- ・【SD研修会】北海道SDGs推進プラットフォーム 第8回SDGs研究会

b 実施方法

◎FD

大学全体のFD研修会は、教育開発センターが企画し、テーマによって外部講師および学内講師が担当して実施し、全体の課題等について学長および教育開発センター室長から説明のうえ意見交換等を行っている。

学部ごとのFD研修会は、学部長が各学科からの意見などにより企画し、テーマによって外部講師および学内講師が担当して実施している。

学科ごとのFD研修会は、各学科が企画し、テーマによって外部講師および学内講師が担当して実施している。各研究科のFD研修会は、各研究科が企画し、テーマによって外部講師および学内講師が担当して実施している。いずれも、企画内容を教育開発センターに報告し、他学科の教員も参加可能としている。

◎SD

- ・ 新任教職員事務説明会（事務局各部所掌の関連事項の説明）
 - ・ 集会形式にて、事務局各部署の職員より関連事項について説明。
- ・ 【SD研修会】第6回大学評価研究所「公開研究会」会」
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】日経 地域創生フォーラムin北海道イノベーションfor SDGs
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】令和4年度大学・短期大学スタディー・プログラム
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】Between学生募集広報ウェブセミナー
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】「学校法人会計の仕組みと実務」～ 学校会計入門コース ～
 - ・ 集会形式にて開催
- ・ 【SD研修会】北海道SDGs推進プラットフォーム 第7回 SDGs研修会
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】大学基準協会 シンポジウム
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】第44回私立大学の教育・研究充実に関する研究会（大学の部）
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】令和4年度私立大学教育研究充実協議会
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】公益社団法人 私立大学情報教育協会 2022年度事業活動報告交流会
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】第7回大学評価研究所「公開研究会」
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】Between大学経営シンポジウム2023
 - ・ オンライン開催
- ・ 【SD研修会】北海道SDGs推進プラットフォーム 第8回SDGs研究会
 - ・ オンライン開催

c 開催状況（教員の参加状況含む）

◎FD

- ・ 新任教員向けFD研修会「授業を行うにあたって」
開催日：2022年4月1日 出席人数：15名（新規採用者）
- ・ 「電子教科書の導入から運用までの説明会」
開催日：2022年11月16日 出席人数：51名
- ・ 「シラバス作成に関する研修会」
開催日：2023年1月25日 出席人数：79名

- ・人間科学部FDセミナー「研究・教育活動を創造・発展させるための方法
～Z世代&進化し続けるデジタルメディアの向き合い方～」
開催日：2022年6月29日 出席人数：52名
- ・人間科学部FDセミナー「医療保健科学部の経緯と学部、学科、専攻の特徴について」
開催日：2022年8月24日 出席人数：46名
- ・人間科学部FDセミナー「本学における『数理、データサイエンス、AIリテラシーと実践』について」
開催日：2023年2月22日 出席人数：28名
- ・外国語学部・国際学部合同FD研修会「英語学を英語授業に活かす」
開催日：2023年2月7日 出席人数：13名
- ・健康栄養学科FD研修会「医療系大学 教育支援システムの使用説明（基礎編）」
開催日：2022年6月22日 出席人数：18名
- ・健康栄養学科FD研修会「サキドリプログラム最終報告会」
開催日：2022年7月13日 出席人数：24名
- ・健康栄養学科FD研修会「医療系大学 教育支援システムによる一般教養科目の使用方法について」
開催日：2022年9月21日 出席人数：12名
- ・理学療法学科 第1回FDセミナー「入学前課題中間報告を学生の学修指導に活かす1」
開催日：2022年4月6日 出席人数：9名
- ・理学療法学科 第2回FDセミナー「入学前課題中間報告を学生の学修指導に活かす2」
開催日：2022年6月16日 出席人数：6名
- ・理学療法学科 第3回FDセミナー「入学前課題中間報告を学生の学修指導に活かす3」
開催日：2023年3月22日 出席人数：11名
- ・作業療法学科 第1回FDセミナー「学問サキドリプログラム 2022年度入学生実施結果の共有」
開催日：2022年7月27日 出席人数：9名（オンライン）
- ・看護学科 FDセミナー「コーチングで人間力を高める」
開催日：2022年9月12日 出席人数：41名
- ・こども発達学科 第1回FD研修会「教育活動の質的保障に向けた合理的配慮を含む学生への
支援策について」
開催日：2022年7月13日 出席人数：21名
- ・こども発達学科 第2回FD研修会「教育活動の質的保障に向けた学生への支援策について」
開催日：2022年11月9日 出席人数：20名
- ・グローバルコミュニケーション研究科FD研修会
「Wearing all the faces: Analyzing religious metaphor from a cognitive perspective
（フェイスをまとう—認知的視点による宗教のメタファー分析—）」
開催日：2022年6月29日 出席人数：7名
- ・リハビリテーション科学研究科FD研修会「他研究科の取り組みから学ぶ
- 健康栄養科学研究科での取り組みから -」
開催日：2023年3月22日 出席人数：11名
- ・こども発達学研究科 FD研修会「兵庫教育大学大学院における多様な学びについて」
開催日：2023年2月17日 出席人数：10名

◎SD

- ・新任教職員事務説明会（事務局各部所掌の関連事項の説明）
開催日：2022年4月1日 新規採用者22名出席
- ・【SD研修会】第6回大学評価研究所「公開研究会」
開催日：2022年7月7日 出席人数：オンライン開催の為、参加者総数不明
- ・【SD研修会】日経 地域創生フォーラムin北海道イノベーションfor SDGs
開催日：2022年8月26日 出席人数：6名
- ・【SD研修会】令和4年度大学・短期大学スタディー・プログラム
開催日：2022年8月30日 出席人数：27名

- ・【SD研修会】Between学生募集広報ウェブセミナー
開催日：2022年9月2日 出席人数：14名
- ・【SD研修会】「学校法人会計の仕組みと実務」～ 学校会計入門コース ～
開催日：2022年9月14日 出席人数：41名
- ・【SD研修会】北海道SDGs推進プラットフォーム 第7回 SDGs研修会
開催日：2022年9月16日 出席人数：10名
- ・【SD研修会】大学基準協会 シンポジウム
開催日：2022年11月22日 出席人数：8名
- ・【SD研修会】大学基準協会 シンポジウム
開催日：2022年11月22日 出席人数：8名
- ・【SD研修会】第44回私立大学の教育・研究充実に関する研究会（大学の部）
開催日：2022年11月24日 出席人数：9名
- ・【SD研修会】令和4年度私立大学教育研究充実協議会
開催日：2022年12月2日 出席人数：4名
- ・【SD研修会】公益社団法人 私立大学情報教育協会 2022年度事業活動報告交流会
開催日：2022年12月9日 出席人数：5名
- ・【SD研修会】第7回大学評価研究所「公開研究会」
開催日：2022年12月20日 出席人数：2名
- ・【SD研修会】Between大学経営シンポジウム2023
開催日：2023年2月17日 出席人数：7名
- ・【SD研修会】北海道SDGs推進プラットフォーム 第8回SDGs研究会
開催日：2023年3月3日 出席人数：8名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD研修会では、本学の授業計画方針の確認、および教育の動向や課題等の研修を通して、教育改善に取り組んでいる。また、研修会の中で教員との意見交換や情報を共有し合うことで、自らの授業を振り返り、教育改善に反映させている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

【2022年度】

- ・有（前期：2022年5月9日～8月31日 後期：2022年10月25日～2023年2月24日）

各科目により授業日程が異なるため回答期間は長期設定しているが、回答時期は各科目の最終回到回答するよう学生に周知している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートはWeb（大学ポータルサイト）で実施している。結果については、全体の集計結果は同サイトで確認可能となっており、科目別集計は各科目ごとに用紙で作成しており各教員に配布している。また、記述式の学生意見については、教員がコメントを作成し掲示板にて公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医療保健科学部設立の周知については、パンフレット、CM、オープンキャンパス等によって全学で一体的に行われた。この成果により、ディプロマポリシーを踏まえたアドミッションポリシーに即した学生募集がスムーズに行われ、看護学科では99名の新入生を迎え入れた。

在校生や新入生に対し、オリエンテーションや新入生宿泊研修を通じて学科設立の趣旨を改めて説明し、大学全体としての意思統一を図った。新学科開設後は、設置計画に基づいた教員による教育が展開されており、医療保健科学部全体として教員・学生交流を深めながら教育を実施している状況である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

今年度は、開設初年度につき実績がないため、令和6年5月頃を目途にホームページ上に公表予定

b 公表方法

今年度は、開設初年度につき実績がないため、令和6年5月頃を目途にホームページ上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和6年に評価機関（公益財団法人 大学基準協会）の評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。